

防災を考える日

～ テーマ「地震に備えた家の中の安全対策」 ～

内容

- 1 今月のテーマ
- 2 地震で起こる家具の動きと被害
- 3 主な転倒・落下・移動防止器具
- 4 家の中の安全対策のポイント

"今回のテーマは家の中の安全対策でしたが、家の周囲にも災害が発生すると危険なところがあるかもしれません。日ごろから危険箇所の点検を心がけましょう"



気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

電話番号:
0226-22-3402

FAX 番号:
0226-22-1467

電子メール:
kikikanri@kesenuma.miyagi.jp

今月のテーマ

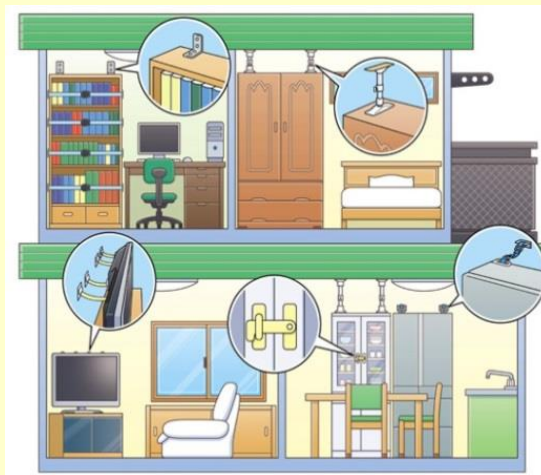
「防災を考える日」の今月のテーマは、「地震に備えた家の中の安全対策」です。

大地震が発生した際には、家具の転倒・落下などで、大けがや避難が困難になる場合があるかもしれません。家の中の安全対策について、皆さんで話し合ってみましょう。

地震で起こる家具の動きと被害

- ・地震によって家具の転倒、収納物等の落下、家具自体が移動する場合があります。
- ・また、状況によっては、人の負傷、家具の破損、通路や出口をふさいでしまうおそれもあります。
- ・家具等を固定するなど、安全対策が必要です。

主な転倒・落下・移動防止器具



出典：政府広報オンライン

- ・L字金具
壁に直接ネジ止めして家具を固定
- ・ポール式器具(突っ張り棒)
ネジ止めできない場合、家具と天井にポールを突っ張って固定
- ・ベルト式、チェーン式、ワイヤー式
家具と壁などをベルト・チェーン・ワイヤーなどで連結する器具
- ・扉開放防止器具など
家具や収納物に合わせ使い分ける
- ・ストッパー式(家具の前下部に挟み込む)やマット式(粘着性ゲル状)も併用

家の中の安全対策のポイント

～家具の配置や収納を見直す～

- ・家具の少ないスペースをつくる
- ・出入り口や通路に物を置かない
- ・寝室は家具を減らす
- ・高い場所に物を置かない
- ・重いものは下に収納する
- ・窓ガラスや食器棚などの飛散防止

